



# 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2024年  
No.1  
事例2

疑義照会・処方医への情報提供

## 処方医への不適切な情報提供（一般用医薬品との併用禁忌）



### 事例

#### 【事例の詳細】

患者にゾコーバ錠125mgが処方された。現在服用している薬剤がないか確認したところ、医療機関を受診する前に市販薬の新ルルAを服用したことを聴取した。薬剤師は、新ルルAに含まれる無水カフェインがゾコーバ錠125mgと併用禁忌であると考え、処方医に疑義照会し、ゾコーバ錠125mgが削除になった。

#### 【推定される要因】

患者は市販薬を服用したことを処方医にも伝えていたが、処方医の確認漏れの可能性がある。

#### 【薬局での取り組み】

患者から服用している薬剤の有無を聴取する。市販薬を服用している場合は商品名を聴取し、含まれる成分を確認する。



### その他の情報

#### ゾコーバ錠125mgの添付文書 2023年12月改訂（第10版）（一部抜粋）

2.禁忌（次の患者には投与しないこと）

2.2 次の薬剤を投与中の患者：エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩

10.相互作用

10.1併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン） エルゴメトリンマレイン酸塩 メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（パルタンM） ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩	これらの薬剤の血中濃度上昇により、血管攣縮等の重篤な副作用が発現するおそれがある。	本剤のCYP3A1に対する阻害作用により、これらの薬剤の代謝が阻害される。

#### 新ルル-A錠s/新ルルAゴールドDXα/新ルルAゴールドDX細粒/新ルルAゴールドs（指定第2類医薬品）の添付文書 2023年1月改訂（一部抜粋）

成分	無水カフェイン 他



### 事例のポイント

- 本事例は、薬剤師が、ゾコーバ錠125mgの添付文書に記載されたクリアミン配合錠の一般的な名称を見て、無水カフェインが併用禁忌であると誤認し、無水カフェインを含有する一般用医薬品とゾコーバ錠125mgの併用に関する誤った情報を処方医に提供した事例である。
- クリアミン配合錠A1.0/S0.5は、ゾコーバ錠125mgとの併用によりエルゴタミンの血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。そのため、ゾコーバ錠125mgはクリアミン配合錠と併用禁忌であるが、無水カフェインとは併用禁忌ではない。
- 誤った情報を提供することにより、本来受けられるはずの必要な治療が受けられなくなることは、患者にとって不利益である。薬剤師は、薬剤に関する正しい情報を処方医に提供することが重要である。
- 医療用医薬品の添付文書の併用禁忌には該当する薬剤が一般的な名称で記載されることがあり、配合剤の場合は併用禁忌に該当しない成分も併記されるため、誤認しないよう注意する必要がある。平素からインタビューフォームや医薬品リスク管理計画書（RMP）などを活用し、薬剤の特性や服薬に関する注意事項を理解しておくことが重要である。
- 本事業には、疑義照会の内容に誤りがある事例が複数報告されており、本事例のように、報告した薬局が処方医へ誤った情報提供を行ったことに気付いていない事例も散見される。
- 疑義照会や処方医へ情報提供を行う前に提供する情報が正しいか確認することや、行った後に提供した情報の適否を再検討する機会を設けるなど、疑義照会に関する手順を具体的に検討する必要がある。



公益財団法人 日本医療機能評価機構  
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル  
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）  
<https://www.yakkyoku-hiyari.icqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。